

交流会にて樹良羅（きらら）の邦楽ミニコンサート

第5回総会（定期総会）終了後、矢本運動公園の武道館で引き続き交流会が行われ、横浜から来てくれた邦楽グループ「樹良羅」によるミニコンサートが行われました。普段はあまり馴染みのない邦楽ですが、尺八や琴、三味線等たっぷりと聞かせていただき、最後は「北国の春」を大合唱して終了しました。

「樹良羅」は、平成25年4月にも東松島市に来て、武道館やグリーンタウンやもと仮設住宅の集会所でミニコンサートを開催しています。

会場の外には、“まちなど”によるフランクフルト・牛タンつくね、栃木ボランティア団体“YAMBE”による餃子、チーム東松山によるやきとりなどの模擬店が設置され、お祭りの雰囲気を感じていました。ご協力ありがとうございました。

写真上／演奏する樹良羅の皆さん
下／YAMBEの餃子屋台には行列ができました



前号で紹介したアフガニスタンからの視察団の昼食

4月3日に「住民主体の新しいまちづくり」の視察に見えたアフガニスタン・カブール市の皆さんの昼食は、宗教上の理由で食材等も限られましたが、“レストランばらだいす”のお世話になりました。ばらだいすのマスターが、インターネットでいろいろ調べてつくってくださった昼食の写真です。



特別メニュー：前号で掲載できなかったのが掲載します。

ペットを飼っている方へ

あおい地区では、ペットクラブを設立し、ペットの飼い主の方全員にペットクラブに入っただけでなく、今、ペットを飼っている方、移転してから飼う方、事務局あてに電話などで登録をお願いします。

今月のペット紹介



石垣ゆみ子さんとカイちゃん

【編集後記】

この度、協議会の名称変更と合わせて、まちづくり通信のテーマカラーを一新してみました。東松島の海、空、田んぼを表す「青」ですがいかがでしょうか。一方では、災害公営住宅の位置決めが佳境を迎えています。7月中には、災害公営住宅でも誰がどこに住むのか確定するそうです。住む場所が決まって、早くほっとできるといいですね。（広報部会長 土門一枝）

皆様からのご意見、ご感想をおまちしております。【集団移転に関する何でも相談窓口】開設中
あおい地区まちづくり整備協議会
〒981-0503 宮城県東松島市矢本字町浦84番地 としまち研東松島事務所内（事務局：阿部久美子、青山秀明）
Tel：0225-98-5291 / fax：0225-98-5293 / E-mail：higashimatsushima@tmk-web.com

第17号 平成26年6月13日

あおい地区（旧東矢本駅北地区） まちづくり通信

発行 あおい地区まちづくり整備協議会 広報部会

目次

- 第5回総会（定期総会）を開催・・・1面
- コミュニティ推進部会がスタート・・・2面
- 現在お住まいの方へ活動状況を報告・・・2面
- 災害公営住宅の位置決め進行中・・・3面
- 災害公営住宅：現場と完成予想図・・・3面
- 交流会の様子・・・4面

第5回総会（定期総会）を開催しました！

去る5月17日午後1時から、矢本運動公園内の武道館にて、東矢本駅北地区まちづくり整備協議会の第5回総会（定期総会）が開催されました。

小野竹一会長のあいさつの後、来賓代表として阿部秀保市長、滝健一市議会議員からそれぞれごあいさつをいただき、前回に引き続き伊藤泰廣氏が議長に選任され、議事に入りました。

最初に「新しいまち」の名称選考委員会の津田京子委員長より、新名称の報告がありました。会員の皆さんに応募いただいた293点の名称案の中から選考を進め、新しいまちの名称を「あおい」に決定したこと、住所は「あおい一丁目～三丁目」を候補として市へ



定期総会であいさつする阿部市長

変更手続きを要請すること、協議会の名称も「あおい地区まちづくり整備協議会」へ変更することが報告されました。

続いて、第1号議案

「平成25年度事業報告」、第2号議案「平成25年度収支決算報告および監査報告」がそれぞれ小野会長、栗石かほる会計担当、佐藤勝輝監事から報告され、異議なく了承されました。

第3号議案「平成26年度事業計画案」では、栗石浩副会長から、部会を再編成し、災害公営住宅の住戸位置決めや公園・集会所等の公共施設の検討、新しいまちの地域自治組織の検討に取り組んでいくことが説明されました。

第4号議案「平成26年度収支予算案」、第5号議案「規約の変更」、第6号議案「役員改選」についても、いずれも異議なく了承されました。

役員改選では、再任・新任を含む39名の方々が選任されましたが、議事終了後、早速役職を決めるための役員会がその場で行われ、会長に小野竹一氏、副会長に菅原忠幸氏、菊池久氏、栗石浩氏、相澤善利氏、監事に佐藤勝輝氏、狩野史郎氏を決定したことが発表されました。

最後に菅原副会長のあいさつにより、総会は滞りなく終了しました。

新役員の皆様、まだまだ課題は盛りだくさんのようですが、皆が無事に「あおい地区」に移り住むことができるまで、どうぞよろしくお願いいたします。

コミュニティ推進部会がスタート

第5回総会で部会の再編成が承認されたことを受けて、新たに「コミュニティ推進部会」が設置され、6月2日に第1回部会が開催されました。コミュニティ推進部会の役割は、あおい地区における地域自治組織の組織体制と活動内容を検討し、「あおい地区自治会」の形を決めていくことです。

第1回の部会では、コミュニティ推進部会の検討課題として、

- ① 区域に関すること
(小字界、班分け、行政区等)
- ② 活動内容に関すること
(相互扶助、防災・防犯、地区清掃等)
- ③ 組織体制に関すること
(役員体制、運営資金、規約等)

を話し合い、災害公営住宅第1期 47 戸の入居が始まる今年 11 月までに、組織の青写真をまとめていくことを確認しました。



第1回コミュニティ推進部会

また小字や行政区の区分など、具体的な検討も開始しました。

コミュニティ推進部会では、部会員の増強を図りたいと考えていますので、関心のある方はぜひ事務局までご連絡下さい。部会長は栗石浩氏、副部会長は熊谷忠氏です。

また、7月6日、7日の両日で、あおい地区のコミュニティのあり方・自治組織のあり方について、広く皆さんの意見を聞くためのワークショップ等を計画しています。詳しくは改めてご案内しますが、住み始めた後の「暮らし・コミュニティ」に係る大切な部分ですので、多くの方にご参加いただきたく思います。

【どんなまちにしたいかの部会員の意見】

- ・多くの地区から移転してくるので、元の地区にあった風習を尊重しつつも、新しいことに取り組めるコミュニティ
- ・年をとっても地区に貢献できるようなシステム、若い人も無理なく地区の行事に参加できるシステム
- ・助けてもらいたい人、助けてあげたい人、助けてもらいたい人は今は動ける人など、地域内でお互いが助け合えるまち
- ・震災直後は見ず知らずの人とも話ができた。お互いを知らなくても和気あいあいと話せる感じにしたい

あおい地区に現在お住まいの方へ活動状況を報告しました

私たちが移転するあおい地区は、元々は大半が田んぼで、土地区画整理事業により新たに住宅地として整備される場所ですが、一部には従前からお住まいの方々もいらっしゃいます(現在8世帯)。

将来、同じまちで一緒に暮らしていくこととなりますので、協議会の動きを知って

いただくため、5月25日に下浦集会所にて活動状況報告会を開催しました。協議会からは小野会長とコミュニティ推進部会のメンバー計4名が伺いました。

初めての顔合わせでしたが、少しずつ顔なじみになり、自治組織の立ち上げ等、歩調を合わせて進めていければと思います。

災害公営住宅の住戸の位置決めを進めています

5月10日、11日に計4回の住戸位置決めの説明会を行い、その後、欠席世帯への電話連絡、資料の送付、個別相談会などを進めてきました。

5月26日が希望登録の締切日となっていましたが、6月3日に開催された第12回災害公営住宅部会での発表によると、この日までに275世帯から希望登録用紙の提出があり、99世帯が希望した住戸位置で重複がなく、第1次決定となりました。

現在、残り176世帯の希望住戸が重複している等で未決定となっています。

このうち戸建住宅2LDK、戸建住宅3LDKについては、未決定の世帯が多いことから、当初の進め方によって「変更希望

登録」を行うこととし、締切を6月16日(消印有効)としました。

一方、戸建て住宅4K、二戸一住宅、集合住宅で未決定の世帯については、郵便でのやり取りでは時間がかかること及び重複世帯数が割合少ないので、6月29日に大曲市民センターにおいて、「住戸位置調整会」を行って決定することになりました。

「住戸位置調整会」の時間等は、希望する住戸形式・住戸タイプ別に設定し、個別にご案内をお送りしています。



災害公営住宅：建設現場の状況と完成予想図

災害公営住宅の先行街区(第1期)では建築工事が着々と進んでいます。右の写真は二戸一住宅の骨組みが組み上がったところです。下の図は、先行街区を東南側から見た完成予想図です(市建設課提供)。道路右側が戸建て住宅、左側が二戸一住宅です。

写真右/二戸一住宅の骨組み
下/第1期完成予想図

